観光社会資本の事例

テーマ 人に愛される新見浄化センター

【施設の状況写真】



親水広場

新見浄化センターの写真下に位置する親水広場は、小学生の自然学習、親子連れの散歩に利用されている。



親水広場では、夜間のライトアップを見に 訪れる人も多い。

【施設の利用写真】



水遊びをする小学生。



散歩の途中に立ち寄る親子連れ。

【観光資源としての利用状況】

新見浄化センターが位置するエリアは、ショッピングセンター・運動公園・住宅分譲地が建設されているエリアであり、本市で最も発展が期待される地域であります。本市では、下水道を核とした新しいまちづくり、地域との調和、併せて、水と緑、自然学習、憩いのスポットとして、人々の利用を進めています。

テーマ 人に愛される新見浄化センター

【社会資本の基礎データ】

〇名称 新見浄化センター

〇所在地 岡山県新見市正田字コセゴ外

〇事業名 水環境創造事業(水循環再生型)

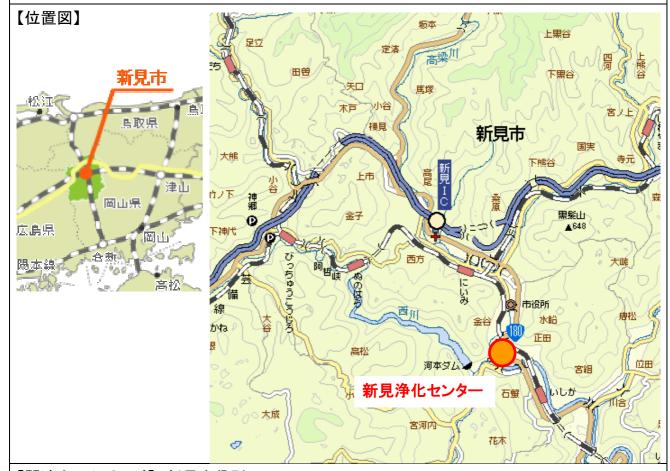
〇事業主体 新見市

○事業期間 平成11年~平成12年

【社会資本の役割・効果】

〇事業効果

親水広場を設けたり、ライトアップを工夫したりすることによって、憩いの空間の提供、処理場が迷惑施設ではないことのアピールに効果があります(観光資源としての効果)。また、下水処理場及び下水道事業について、住民の意識の変化が著しく見て取れ、イメージアップに大いに貢献しています。



【関連ホームページ】 新見市役所 http://www.city.niimi.okayama.jp/